



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

広報

# かわごえ環境ネット

2023年1・2月号 No.189

あけましておめでとうございます。2023年がよい年となることをお祈りします。今年からかわごえ環境ネットは2021年5月に川越市長が表明した「小江戸かわごえ 脱炭素宣言」に応じた未来を考える取組を始めます。5年近く雪景色のない川越ですが、未来はどうなるでしょうか？(かわごえ環境ネット理事長小瀬博之)

2:【報告】2022 森フェス in 川越 (11月19日)

3:【報告】キタミソウ観察会 (11月6日)

環境講演会「川越のSDGs それってほんとにサステナブル？」(12月11日)

4:【コラム】社会と環境について思うこと(22)『農からはじまる暮らしの循環都市の循環』

自然を訪ねて(7)『自然環境保全のために生物多様性有機農法をめざそう!』

5:【参加者募集】第21回かわごえ環境フォーラム／「環境活動報告集」投稿・発表者最終募集

6:かわごえ環境ネットからのお知らせ

7:会員からのお知らせ

8:イベントカレンダー (2023年1月1日～2月28日)

残したい川越の風景(7) 小畔川金堀橋から見た雪景色(2018年1月24日撮影)



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



【報告】2022 森フェス in 川越 (11月19日)

初めての「森フェス」

さわやかな秋の日差しのもと、川越で最も生きものたちの声が聞こえる場所、(仮称)川越市森林公園計画地で「2022 森フェス in 川越」を11月19日(土)に開催しました。お天気にも恵まれ、森を散策するにはとても気持ちがよい季節、たくさんの市民に参加いただきました。参加者は大人42名、子ども27名、未就学児17名、スタッフ81名の総勢167名で、かわごえ環境ネットが主催する森を舞台にした活動では最大規模のものになりました。

3グループと合同のアクティビティ

イベントではA「森のスタンプラリー & ネイチャーゲーム」、B「木工ワーク

ショップ」、C「秋野菜の収穫体験 & 読み聞かせ会」の3つのグループに分かれてアクティビティを体験した後、合同で「森で歌おう」と「プチマルシェ」を楽しみました。たくさん子どもたちとその親御さんが森を訪れ、自然に触れあい、貴重な機会になりました。

それぞれのアクティビティでは、かわごえ環境ネットのメンバーがこれまで蓄積してきた自然を楽しむ知恵や、この場所を守っていくために生まれた人とのつながりが存分に発揮され、森の各所で素敵なアイデアが表現されました。

協力団体とつくりだした多様な風景

そして今回のイベントでは、大木農園、なるかわ農園、矢部農園、たばちゃん

農園、川越緑のサポーター、福原小学校有志の会、あけぼのホールに協力いただき、主催団体だけでは叶わなかったより多様な風景を森の中でつくりだすことができました。心より感謝いたします。

川越で暮らす未来の子どもたちのためにも、かわごえ環境ネットでは豊かな自然を残す活動をこれからも続けていきたいと思ひます。

謝辞

本イベントは川越市市制施行100周年事業 提案型補助事業として採択され、実施しました。

(増田知久)

Aグループ「森のスタンプラリー & ネイチャーゲーム」(かわごえ環境ネット)



A-4 どんぐりころころ



A-5 森の博士とお話しよう



A-2 森の美術館

Bグループ「木工ワークショップ」(川越緑のサポーター)



どんぐりホルダーをつくろう



丸太を切って年輪パズルに



葉っぱで笑顔ができるかな

Cグループ「収穫体験 & 読み聞かせ会」(大木農園 & 福原小学校有志の会)



C-1 大きな布絵本を読みました



C-2 川越名物さといもを収穫しました

A/B/C合同「森で歌おう & プチマルシェ」(あけぼのホール & 地域の農家さん)



森で歌おう



森のマルシェ





## 【報告】キタミソウ観察会（11月6日、自然環境部会）

### 開催概要

日時:11月6日(日) 9:00-12:00、講師: 福原時夫氏、稗島英憲氏((公財)埼玉県生態系保護協会会員)、場所:伊佐沼  
**伊佐沼のキタミソウ**

キタミソウが伊佐沼で初めて“発見”(確認)されたのは2018年11月11日でした。それまで何百年かそれ以上ずっとここにいたのに、人間が気づかなかったのです。地味な植物で普通は目もくれない類です。発見に至る経緯は月刊かわごえ環境ネット2021年11月号(No.181)のコラム「川越の自然を訪ねて」に詳しいのでご覧ください。キタミソウは「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」の22種の動植物のうちの一つで、他の絶滅危惧種とは違い、強い保護が求められています。

### 観察会の様子

今回の観察会は昨年同様、埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部との共催です。当日は晴れ、気温17℃で快適な観察日和。参加者が多数となり、2グループに分かれての行動です。

まずは九十川への排水口付近の群生地へ。地面に“かぶりつき”でないと見えません。へら状の小さな葉を確認し、ルーペでさらにその中にあるまことに小さな数ミリの花が見えたとき、参加者から「えーっ、ホントだ、花の形してる!」と歓声が上がりました。ひとしきりキタミソウを見て、伊佐沼を回りながら野鳥や植物にも注目。セイタカシギ、ダイサギ、ヨシ、セイバンモロコシ等々。北側のハスを植えるための中洲に入りますが、現在はハスではなく一面のキタミソウです。

次は北側の階段や木道のあるところの湿地帯。ここではさまざまな段階の



キタミソウ

キタミソウが観察できました。青々とした葉がしげりこれから開花するもの、すでに開花が終わり種子を付けているもの、茶色くなり枯れかけたものなど。これらのステージの違いは湿り具合に依存しているようで、少し乾いてくると足早に結実するようです。開花時期も伊佐沼では10月、3月ごろとサイクルが2回繰り返されます。

最後は2つのグループが合流し、まとめや疑問点など情報を共有しました。小学生の男の子が「こんなところにキタミソウあるのは知らなかった。」という感想を言ってくれました。

(賀登環)



観察の様子

## 【報告】環境講演会「川越のSDGs それってほんとにサステナブル?」(12月11日、社会環境部会)

### 講演会の概要

12月11日(日)に社会環境部会主催の環境講演会「川越のSDGs それってほんとにサステナブル?」をウェスタ川越会議室1にて開催し、27名の参加者がありました。またYouTubeライブによるオンライン同時配信も行いました。

本講演では、川越在住のノンフィクションライター／環境ジャーナリスト高橋真樹さんをお招きし、SDGsの本質やあるべき行動指針・目標設定についてお話をいただきました。

### 講演の内容

講演では、①SDGsのサステナブルとはどういう意味なのか、地球は持続可能か、②気候変動やコロナの問題に私たちはどう向き合えばいいのか、③SDGsはなぜできたのか、日本ではどんなことが誤解されているのか、④SDGsが最も大切にしていることとは、⑤日本のSDGsはこのままで大丈夫なのか、⑥川越でそして私たちひとりひとりにはどんなことができるのか、⑦ごみ問題とエネルギー問題について、⑧ご

み問題は私たちに何を突きつけているのか、⑨再エネと省エネの暮らしでできることってなんだろうか、について具体例を交えながらわかりやすく説明されました。特にSDGsには「サステナブル(持続可能)」と「トランスフォーメーション(大転換)」の視点を持つことが重要だと強調されたのが印象的でした。

### 質疑応答

講演後の質疑応答の中では、吉野郁恵市議会議員からコメントをいただいたり、原村政樹映画監督から1月公開の映画「若者は山里をめざす」の紹介並びに山里の大切さについて語っていただいたりしました。

### 謝辞

今回の講演会の開催に際して、ご協力いただいた講師の高橋真樹さん、社会環境部会の関係者、そしてコロナ禍の中、足を運んでいただいた参加者にご場を借りまして御礼申し上げます。

(宮崎誠)



講師の高橋真樹さん



司会の宮崎

増田社会環境部会代表



講演会の様子



【社会環境部会コラム】社会と環境について思うこと (22) 農からはじまる暮らしの循環 都市の循環

お米づくり、野菜づくりの楽しみと喜び

環境にも人にもやさしいお米づくり、野菜づくりを始めて3年になりました。太陽と雨と大地の恵みで育った野菜で食卓が彩られ、コミュニティの最小単位である家族の食を支え、家族や友人に自分が育てたものを食べてもらえることは暮らしの大きな喜びになります。また、食の自給率が高まっていくことも楽しみのひとつで、地産地消にもつながります。サステナブルな社会を描いていくために、まずは自分できることから、身近な生活スタイルを見直し、改善していこうと、そのような気持ちで野菜作りに取り組んでいます。

様々なスケールでの循環との接点

農ある暮らしをしていると、様々なスケールでの循環との接点を実感します。日常生活の中では食事の残渣(ざんさ)はコンポストを活用して土にかえすこと

で生ごみの量を減らし、畑の栄養補給になります。また、余った野菜があれば友人たちに分け、野菜の話題で盛り上がるなど、人とのつながりを生み出すきっかけにもなります。畑は身の回りにある有機資源の受け皿になることに気がつきます。例えば、家で使わなくなった木製家具を畑でリメイクして、ベンチや棚をつくったり、雑木林や公園の落葉を集めれば豊かな堆肥ができたりします。農と関わっていくと、身近な社会生活から都市の自然環境までいろいろな循環の中に身を置いていることを実感します。

循環の輪が自然を大切に  
する気持ちに

循環の輪に身を置い

ていると、その循環を可能にしている自然の要素である川や森や大地に大きな支えになっていること、そしてその自然たちを大切にしていこうという気持ちが湧いてきます。自然を守ることは、食を守ること、そして私たちの体を守ることもつながっていくのだと思います。

(増田知久)



収穫のお手伝い

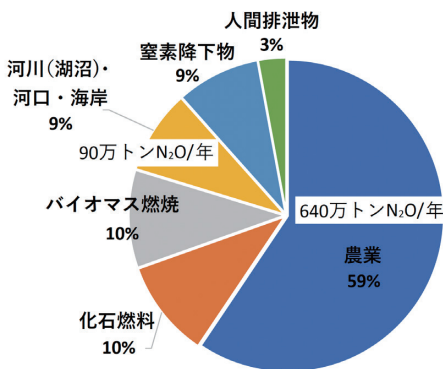


収穫した野菜たち

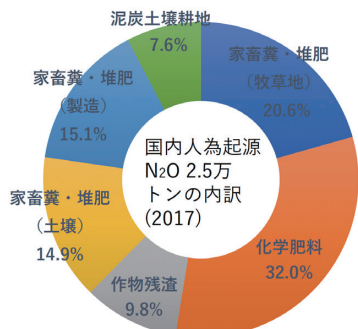
【自然環境部会コラム】自然を訪ねて (7) 自然環境保全のために生物多様性有機農法をめざそう!

今、農業が環境破壊を起こしています!

「亜酸化窒素 (N<sub>2</sub>O)」は、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) の実に 300 倍を超える温室効果をもたらしと言われており、このことは大きく農業に由来しています。



IPCC 第 5 次報告書に基づく N<sub>2</sub>O 発生内訳 (2006/2011 時点)<sup>[1]</sup>  
出典：IPCC 第 5 次報告書 (2014) 記載のデータに基づき NEDO 技術戦略研究センター作成 (2021)



農業分野における N<sub>2</sub>O 発生内訳 (2017)<sup>[1]</sup>  
出典：FAO 公表の GHG インベントリに基づき NEDO 技術戦略研究センター作成 (2021)

図-1 は、亜酸化窒素の人為的な発生の内訳で、農業による発生量が実に全体の 59% で最大を占めており、化学肥料によるものが約 32.0% (図-2) と報告されています<sup>[1]</sup>。

この膨大な量の亜酸化窒素の発生源は、農業活動において大量に使われる化学肥料のアンモニアに由来するもので、その使用過多が大きな要因となっています。そこで、この亜酸化窒素を抑制することが地球温暖化を防止する上で世界規模での研究課題になっています。抑制のカギを握るのが土壌バクテリアと言われています。土壌の健全化が地球の温暖化を抑制する大きな役割を担うと言っても過言ではないでしょう。2021 年 5 月に国連総会議長のボズクル氏は「微生物に懸かる人類存亡」の危機として、土壌を守るために何ができるかを考え行動しよう! と語っています。

土壌バクテリアによる土壌の健全化

そこで、かわごえ里山イニシアチブでは日本薬科大学の高野研究室と連携して、私たちが長年農業も化学肥料も使わない米づくりをしてきた川越市福田の田んぼの土壌バクテリアを解析してもらった結果、実に 56 種におよぶ土壌菌が発見され、多様な土壌バクテリ

アのコミュニティや肥沃度合いが示された結果となり、土壌の健全化につながっていることがわかってきました。

さらに、興味深いことは、マメ科植物の根には根粒菌が共生しており、窒素化学肥料を必要としないで済む 2 つの主要な土壌バクテリアが最近の研究で特定され、これらが福田の土壌においてもしっかりと見つかりました。

このことは、レンゲなどの緑肥が、化学肥料を田んぼに施肥しなくても窒素固定をするバイオシステムが土壌に備わっていて、亜酸化窒素の発生を自然と抑制していることを示唆しています。

地球温暖化防止の観点からも生物多様性の有機農業を

土壌の健全化は、土壌菌のバランスを保つために多くの土壌バクテリアのコミュニティ形成が必要で、土壌環境もヒトの健康に重要な腸内環境も地球環境と同じだと言われています。地球温暖化防止の観点から、今、生物多様性の有機農業に舵を切らなければ人の健康も地球環境も守れないと言っても過言ではないでしょう。

(増田純一)

出典 [1]：温室効果ガス N<sub>2</sub>O の抑制分野の技術戦略策定にむけて、技術戦略研究センターレポート TSC Foresight Vol.105, 2021.6



【参加者募集】第21回かわごえ環境フォーラム(2月25日、ウエスタ川越)

# 第21回 かわごえ環境フォーラム

日時:2023年2月25日(土)9:30-16:30  
会場:ウエスタ川越(午前はYouTube同時配信)



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

かわごえ環境ネットは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

江戸かわごえ脱炭素宣言」を表明し、川越市が国や他の自治体とともに「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」の脱炭素社会を目指し、市民・事業者・民間団体と力を合わせて地球温暖化対策に取り組んでいくことを宣言しました。

私たちは何

午前の部 (9:30-12:00) かわごえ環境活動報告会  
午後の部 (13:00-16:30) ワークショップ

## 若者×環境=暮らしに根ざした未来

Background vector created by freepik - www.freepik.com  
https://www.freepik.com/vectors/background



### 実施概要

日時:2月25日(土) 9:30-16:30  
場所:ウエスタ川越市民活動・生涯学習施設(2階)活動室1・2(川越市新宿町1-17-17、川越駅西口より徒歩5分、定員50名)、  
\*午前の部のみオンライン同時配信(YouTubeライブ)

主催:かわごえ環境ネット、後援:川越市、協賛(予定):パイオニア株式会社 川越事業所 武州ガス株式会社 株式会社環境総合研究所

\*川越市エコチャレンジイベント認定

### プログラム

9:15- 午前の部 受付

9:30-12:00 午前の部

「かわごえ環境活動報告会」

(司会:菊地三生 かわごえ環境ネット理事)

9:30-9:45 開会

9:45-12:00 環境活動報告会

「かわごえ環境活動報告集」に投稿

いただいた方とかわごえ環境ネットの専門委員会から10件程度活動報告していただきます。

12:00-12:45 閉会・休憩

12:45- 午後の部 受付

13:00-16:30 午後の部 ワークショップ

「若者×環境 = 暮らしに根ざした未来」

(司会:飯島希 かわごえ環境ネット理事)

13:00-13:10 開会

13:10-14:10 環境活動団体のプレゼンテーション

埼玉県内で活動している若者を中心とした環境活動団体の方から、活動内容や今後の課題・展望についてプレゼンテーションしていただきます。3団体程度を予定しています。

14:10-14:30 休憩・話し合い準備

14:30-16:00 グループワーク「2050年小江戸かわごえ脱炭素」に向けた暮らしに根ざした未来を考える

川越市長は、2021年5月1日に「小

をすればよいのでしょうか。プレゼンターと来場者と交えて話し合いの場を作り、若者世代とシニア世代をつないで、サステナブルな暮らしに根ざした未来を考えましょう。

16:00-16:30 総括・閉会

プログラムの詳細

プログラムの詳細や参加方法は、かわごえ環境フォーラムホームページ(<https://forum.kawagoekankyo.net>)で1月末日までに公開予定です。

参加申込・問い合わせ

かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課環境推進担当) Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

\*午前の部のオンライン視聴は事前申込不要です。

\*内容は予定であり、今後の社会状況等によって変更の可能性があります。

## 【募集】第21回かわごえ環境フォーラム「環境活動報告集」投稿・発表者最終募集(1月4日まで)

### スケジュール(申込書提出期限延長)

1月4日(水)「投稿・発表申込書」及びレポート投稿最終期限

2月25日(土) 9:30-12:00 ウエスタ川越で発表

### 趣旨

「第21回かわごえ環境フォーラム」の開催にあたって、環境活動をされている個人・団体からの環境活動報告を

広く募集します。個人・団体の年間の活動報告を「かわごえ環境活動報告集」に集積して情報共有を図ります。積極的な応募をお待ちしています。

### 応募要項

「投稿・発表申込書」の提出とレポート投稿(4ページ以内)をしていただいた上で、希望者は会場で発表していただけます。申込書やレポートの書式など

詳細は、かわごえ環境フォーラムホームページをご覧ください。会員外の方も投稿・発表歓迎です。

ご不明な点はかわごえ環境ネット事務局にお問い合わせください。



かわごえ環境フォーラム  
(<https://forum.kawagoekankyo.net>)



## 報告

## 理事会・事業運営委員会

## 10月19日(水) 事業運営委員会・理事会

主な議題：①川越まつり事前クリーン活動(10月9日)の報告と歳末まち美化活動(12月18日)の計画、②第21回かわごえ環境ネットの行事実施計画と協賛依頼の訪問計画、③来年の郵送費の契約承認、④会費未納者への通知文の送付、⑤「アースデイ川越 in 昭和の街 2022」(10月2日、後援)の実施報告、⑥会員動向(個人1名入会で個人143、民間団体24、事業者25、行政1の合計193会員)、⑦各専門委員会からの報告(社会環境部会・自然環境部会の開催時間を11月から短縮して両方に参加しやすくすることなど)

## 11月16日(水) 事業運営委員会・理事会

主な議題：①歳末まち美化活動の準備状況、②第21回かわごえ環境フォーラムの午後の部テーマ候補決定、講演者は高澤会員に選定を依頼、協賛依頼文書の会員事業者への送付実施、「かわごえ環境活動報告集」の発行方法について検討、③「2022 森フェス in 川越」の実績報告書の提出について、④会員動向(個人会員入会・退会各1名で会員数増減なし) (小瀬博之)

## 社会環境部会

## 11月11日(金) 13:00-14:30

福田ビル3階で社会環境部会の例会を

開催。参加者は6名。

## 協議事項

①12月開催予定の環境講演会について、講師やテーマ等に関する協議、②クリーン活動の今後の体制及び準備事項についての確認、③歳末まち美化活動についての事前準備等の確認、④2022 森フェス in 川越の準備状況について情報を共有、⑤かわごえ環境フォーラムでの社会環境部会の発表方法について協議

## 12月9日(金) 13:30-14:30

福田ビル3階で社会環境部会の例会を開催。参加者は7名。増田知久代表が欠席のため、宮崎が司会を務めた。

## 1. 報告事項

11月19日(土)(仮称)川越市森林公園計画地で開催された「2022 森フェス in 川越」

## 2. 協議事項

①12月11日(日)開催の環境講演会、②12月18日(日)開催の歳末まち美化活動、③2月25日(土)開催の第21回かわごえ環境フォーラム等について協議。(増田知久、宮崎誠)

## 自然環境部会

11月例会は11日(金)に9名参加 12月例会は9日(金)に9名参加、福田ビル3階にて開催

## 1. 活動報告

①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例活動10月24日(月)9名参加 雨のため参加者少数、11月14日(月)18

名参加 森フェスのポイントラリー場所最終確認、11月28日(月)17名参加 森フェス振り返り・林内観察 リンドウ、センブリ、タツナミソウ確認、②池辺公園定例活動11月8日(火)9名参加 道路沿いの藪状帯手入れ、③生き物調査 寺尾調節池10月20日(木)9:30-12:00 10名参加、④生き物調査小委員会10月28日(金)福原公民館8名参加、⑤古谷湿地さかな観察会10月29日(土)環境政策課主催 自然環境部会協力 スタッフ3名、⑥「キタミソウ観察会」11月6日(日)生態系支部と共催 参加者40名2グループで観察 別掲記事参照、⑦「2022 森フェス in 川越」11月19日(土)21名スタッフ参加 別掲記事参照

## 2. 協議事項

福原地区の「ふるさとの緑の景観地」の手入れをしている会員から、新たに確認できた生き物の報告があった。川越にもまだ未開拓の地があるが、今後存続するかどうかはわからない。農業で使う化学肥料の余剰窒素分が温暖化を促進することなど、人々の活動が気候変動に直結している。現実に悲観するだけでなく何ができるかなど議論した。(賀登環)



「(仮称)川越市森林公園」計画地の森林の様子(11月28日) 絶滅危惧II類(VU)のセンブリの群落を見る

## 予告・募集

## 会合

●社会環境部会(第2金曜日)日時:

①1月13日・②2月10日(金)13:30-14:30

●自然環境部会(第2金曜日)日時:

①1月13日・②2月10日(金)14:30-16:00

◆事業運営委員会 日時:③1月18日・

④2月15日(水)9:00-10:00

◆理事会 日時:③1月18日・④2月15日(水)10:00-11:30

◆広報委員会 日時:⑤1月11日・⑥2月8日(水)9:00-9:30

会場:①②福田ビル3階会議室(川越市郭町1-2-3)、③④川越市役所地階修養室(川越市元町1-3-1)、⑤⑥オンラ

イン(URLは委員に別途案内)

\*①②は会員が自由に参加できます。

## 自然環境部会の活動

★A「(仮称)川越市森林公園」計画地植物調査・保全活動(毎月第2・第4月曜日)日時:1月9・23日,2月13・27日(月)9:30-12:30 集合:川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)

★B池辺公園定例活動(毎月第2火曜日)日時:1月は休止・2月14日(火)9:30-12:00 場所:池辺公園(川越市池辺1302)

★C生き物調査小委員会1月26日(木)9:30-12:00 場所:福原公民館(川越市今福481-3)

ABCの問い合わせ先:賀登(Tel.049-234-9366)

ABCの問い合わせ先:賀登(Tel.049-

## 広報委員会

(会員対象)2023年3・4月号(No.190, 3月1日発行)原稿募集

提出締切:2月8日(水)

提出方法:原稿(テキスト、図表)と写真等の画像(高解像度)は電子データで編集担当共有のメーリングリスト(koho@ml.kawagoekankyo.net)に送付。メーリングリストは事前登録が必要。未登録の方は広報委員会メール(koho@kawagoekankyo.net)に問い合わせを。メール未使用の方はかわごえ環境ネット事務局(環境政策課、川越市役所5階)に提出。



## NPO 法人かわごえ里山 イニシアチブ

増田純一 (E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623)

### 近況報告



11月2日(水) 米村でんじろうサイエンスプロダクションのチャーリー西村の幼児向け教育番組で脱穀、精米までの過程の動画撮影に協力しました。お米作りの大変さや、稲わらからぬかまで、捨てることなく全てを利用する昔からの知恵を体験してもらいました。

**Facebook** <https://www.facebook.com/kawagoesatoyama>

**HP** <http://kawagoesatoyama.ciao.jp/>

## 川越フォレストクラブ

賀登環 (Tel.049-234-9366)

### 報告

11月9日(水) は「森フェス」のための森林整備を実施。



藪状の林床が歩けるように

### 予告

◎「(仮称)川越市森林公園」計画地「リュウブの森」の手入れ 1月11日(水) 8:30-12:00 集合:川越南文化会館(ジョイフル)、「(仮称)川越市森林公園」計画地で、動力班と手作業班で効率よく、かつ植生に配慮した手入れを実施。奇数月の第2水曜日が活動日。

## 小畔川の自然を考える会

賀登環 (Tel.049-234-9366)

### 報告

10月23日(日) 源流域調査、11月13日(日) 鎌取橋上流調査、12月4日(日)

### 6-8 ページの記号凡例

★: 本会主催・後援等一般公開行事 ●: 本会会員対象行事 ◆: 本会理事・委員対象会合 ◎: 本会会員等主催のイベント等 ○: その他(個別記事参照)

南小畔川日高市内から笠幡駅までの川歩き。これで今年度の調査は終了。



10月23日の小畔川源流域調査

## こもれびの森・里山支援隊 (東洋大学小瀬研究室)

小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532), <https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/>

### 報告



こもれび祭出展 11月26日の活動

10月29日(土)・30日(日) 3年ぶりに第13回こもれび祭(大学祭)に出展し「里山体験と木工教室」を実施。11月26日(土) 里山林保全活動を実施(学生受入を再開)。コナラの枯損木を多数確認。

## 公益財団法人埼玉県生態系保護協会川越・坂戸・鶴ヶ島支部

内野 (Tel.049-222-1731)、当日の携帯電話連絡 (Tel.090-7003-8617)

### 予告

◎伊佐沼でバードウォッチング(毎月第2日曜日、雨天中止)

集合: 10:10 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや、持ち物: 筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物、参加費: 一般300円、高校生以下100円(保険代・資料代)

1 1月8日(日) 10:10-12:00 毎年行うガンカモ調査の日です。長年続けることで、環境の変化を知ることができます。あなたの参加をお待ちしております。

2 2月12日(日) 10:10-12:00 沼は凍って氷の上で、カモのおもしろい行動が見られます。一番寒い時期ですので、暖かい服装で来てください。

## 個人会員からのおしらせ

松岡壽賀子さん(社会環境部会)

高階南公民館 (Tel.049-245-3581)

### 予告

◎かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」会場: 高階南公民館1階(川越市藤原町23-7)、参加費: 無料。参加されたみなさんと身体や環境に負荷の少ない取組や暮らし方など、井戸端会議のようにお話しています。知って、その後を豊かに楽しめましょう。1人でも多く動いたら減災・防災につながります。

1 1月18日(水) 13:30-15:00 「裁縫タイム〜マイ箸袋作りと衣類のリメイク〜」使わなくなったワイシャツやセーターなどのリメイクとマイ箸袋作りをします。持ち物: 直近2〜3か月分の光熱水費料金票、裁縫道具(リメイク希望はリメイク衣類、マイ箸袋希望は25cm角の布)。  
2 2月16日(木) 13:30-15:00 「プラスチック製品の使用について」家庭でプラスチック製品を使用することについて健康・環境面から考えてみよう。持ち物: 直近2〜3ヶ月分の光熱水費料金票

### 原村政樹監督

<http://wakamono-yamazato.com>

◎新作映画「若者は山里をめざす」上映

1月14日(土) から新宿のKSシネマで、1月21日(土) から川越スカラ座(川越市元町1-1-1, <https://k-scalaza.com>)で上映です。東秩父村で20代の若者たちが村のお年寄りたちと力を合わせて、山里の魅力を発信する営みを描きました。作家の村上龍さんは『若者は山里をめざす』こちらはリアルにあふれている。若者が触れたものが明確に示される。触れたものへの感動が伝わってくる。太古の昔から、わたしたちはそうやって何かと出会ってきたのだ」と絶賛して下さいました。



©2022 映画「若者は山里をめざす」製作委員会



2023年1月

1 日	元日
2 月	振替休日
3 火	
4 水 ○	かわごえ環境活動報告集「投稿・発表申込書」及びレポート投稿期限
5 木	
6 金	
7 土	
8 日 ◎	10:10 伊佐沼でバードウォッチング
9 月	成人の日
	★ 9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
10 火	
11 水 ◎	8:30 「(仮称) 川越市森林公園」計画地雑木林の手入れ ◆ 9:00 広報委員会
12 木	
13 金 ●	13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会
14 土 ◎	10:00 映画「若者は山里をめざす」上映(新宿 K's シネマ) (-1/20)
15 日	
16 月	
17 火	
18 水 ◆	9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会 ◎ 13:30 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
19 木	
20 金	
21 土 ◎	映画「若者は山里をめざす」上映(川越スカラ座) (-2/3, 火・水曜定休)
22 日	
23 月 ★	9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
24 火	
25 水	
26 木 ★	9:30 生き物調査小委員会
27 金	
28 土	
29 日	
30 月	
31 火	

2023年2月

1 水	
2 木	
3 金	
4 土	
5 日	
6 月	
7 火	
8 水 ◆	9:00 広報委員会 ○ 本紙 2023年3・4月号 (No.190) 原稿投稿期限
9 木	
10 金 ●	13:30 社会環境部会 ● 14:30 自然環境部会
11 土	建国記念の日
12 日 ◎	10:10 伊佐沼でバードウォッチング
13 月 ★	9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
14 火 ★	9:30 池辺公園保全活動
15 水 ◆	9:00 事業運営委員会 ◆ 10:00 理事会
16 木 ◎	13:30 かんきょうサロン「健康と環境とお財布にやさしい生活術」
17 金	
18 土	
19 日	
20 月	
21 火	
22 水	
23 木	天皇誕生日
24 金	
25 土 ★	9:30 第21回かわごえ環境フォーラム
26 日	
27 月 ★	9:30 (仮称) 川越市森林公園計画地植物調査・保全活動
28 火	

インターネットアクセス (QRコード)



ホームページ



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube



note



かわごえ里山イニシアチブ 映画「若者は山里をめざす」



**おことわり** 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

かわごえ環境ネット会員募集

かわごえ環境ネットでは、個人会員、団体会員を随時募集しています。年会費は個人会員1,000円、団体会員2,000円です。1月から3月に入会した場合、3月までの会費は免除となります。ぜひご入会ください。

会員特典

- 1 本紙「広報かわごえ環境ネット」や各種おしらせを郵送・電子メールでお届け
- 2 本紙及び本会インターネットへの記事の掲載、チラシの同封
- 3 本会主催の事業への優先参加
- 4 総会、専門委員会活動への参加

詳細

かわごえ環境ネット事務局(川越市環境政策課)に問い合わせるかWebサイト(<https://kawagoekankyo.net>)をご覧ください。



入会案内

広報 かわごえ環境ネット  
2023年1・2月号  
No.189

発行日：2023年1月1日 編集・発行：かわごえ環境ネット 広報委員会  
事務局：川越市環境部環境政策課 350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1  
Tel.049-224-5866 (直通), Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.lg.jp  
かわごえ環境ネットホームページ <https://kawagoekankyo.net>